

伝統と開発力で日本発の 足にこだわる靴下を追求

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
量産対応



本社工場の作業風景

業務内容 アスリート用 高機能高付加価値靴下

製品開発においては、関連する工程の連携が重要であるため、染色、編立、加工、仕上げを国内自社一貫工程で生産し、靴下の機能の設計やデザインを自社で手がけている。この一貫生産の強みを生かし、足の形と動き、働きに注目した高機能高付加価値靴下の開発に力を入れている。数多くの特許を取得し、アスリート用高機能高付加価値靴下の自社ブランド「FOOT MAX」の販売を強化する。

平成28年のリオデジャネイロオリンピックで自転車競技選手が当社の高機能靴下を着用するなどロードバイクやランニング、クライミング、ゴルフなど個人競技の分野に特化した各種高機能靴下を製品化している。

強み 国内で高品質の靴下を一貫生産

企画からデザイン、生産の一貫工程システムを内製化し、最短のリードタイムで受注先や消費者の複雑なニーズに迅速に対応する。開発においては大学の運動部などの協力を得て個々のスポーツ競技者のニーズに応じた靴下を製作する。また営業や企画と製造工場が同じ敷地内にあり、開発と製造部門が密に連携しながら開発を進めることができる。

さらに吉村盛善社長は「アパレル業界では一般的に外部委託する試作品を当社は内製化しているのが強み」と話す。

特許技術 立体構造による 機能的役割で最高の履き心地

特許技術の「3D SOX」は、つま先にマチ状の編みを採用し、指先の形状や動きに

合わせ立体的な厚みを持たせることで締め付けを和らげるのが特徴。足底の母趾球などに沿った立体構造がズレを防止しフィットする。土踏まずの形状に合わせた部分的サポーターは疲れによるアーチの低下による運動能力の低下を緩和する。

今後の展望 高齢者向けや 海外展開にも挑戦

今後は足にこだわるスポーツ分野の商品群を広げ、平成28年はスノーボード用を製品化した。またスポーツで培った技術を応用し「履きやすく、ズレにくい」をコンセプトにスポーツ分野以外の機能性をいっそう追究していく。吉村社長は「各種機能を付加した高齢者向けの製品開発を検討していきたい」と強調する。また医療機器製造認可を取得したのを機にメーカーと組んで医療分野の靴下の製造受託を手がけていく。海外展開についてはすでにOEM（相手先ブランド生産）を通じて海外市場に輸出しているが、自社ブランド「FOOT MAX」、「3D SOX」の展開も積極的に進めていく考えだ。



「FOOT MAX」

当社の歴史



大正11年に河内木綿の産地の大阪府松原市で創業から靴下専門の製造業として90年以上の歴史があります。創業以来「開発に生きる」を基本理念にコーマ糸を使用した高級品のコーマ印の靴下を開発。以降も綿素材で伸縮性のあるスパandex入り靴下や平成14年に高機能ソックス「3D SOX」を開発、平成21年に同技術を生かした独自ブランド「FOOT MAX」をシリーズ化するなど開発型企業として歩んでいます。

代表取締役社長 吉村 盛善さん

<http://www.cooma.co.jp/>

主な事業内容

靴下の製造、国内自社一貫工程による高機能高付加価値靴下の開発

主な取引先(納入先)

スポーツ用品メーカー、アパレルメーカー

- 住所 〒580-0043 松原市 阿保3-6-27
- TEL 072-332-1563
- FAX 072-332-1567
- 創業 大正11年11月
- 設立 昭和26年3月
- 資本金 1,800万円
- 従業員 78名